

膵臓癌に対して膵臓切除を受けられた患者さんの
診療情報等を研究に利用することについて
お知らせ

九州医療センターでは、九州医療センター倫理審査委員会 の審査を受け、病院長承認のもと、下記の臨床研究を実施しております。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当該研究に診療情報等が用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の[相談窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

研究課題名	膵臓癌に対する集学的治療の検討
研究実施機関の 研究責任者	九州医療センター 肝胆膵外科（職名：医師）野村頼子
研究の背景	膵臓癌は早期発見が難しく、進行した段階で診断されることが多く、再発率が高いため治療が困難です。手術が最も効果的な治療法ではあるが、術後の再発を抑制し、予後を改善するための新しい集学的治療が求められています。術前化学療法は、腫瘍縮小や切除可能性の向上に寄与し、手術後の再発率低下が期待されています。また、術前化学療法への反応は、その後の治療戦略や予後の予測にも重要な指標となり得ます。 しかし、術前化学療法の効果や最適な治療法についてはまだ議論があり、さらに検討が必要です。本研究では、膵臓癌に対する術前化学療法の効果・手術を含めた集学的治療の効果を評価し、最適な治療法を明らかにすることを目的としています。これにより、膵臓癌の治療における術前化学療法を含めた集学的治療の意義を明確にし、生存率向上に寄与することを目指します。
研究目的	本研究の目的は、膵臓癌に対する術前化学療法を中心に、集学的治療の効果を評価し、その有効性を明確にすることです。具体的には、術前化学療法を含む集学的治療が腫瘍の縮小、切除可能性の向上、術後再発率の低下に与える影響を検討し、患者ごとの最適な治療戦略を導き出すための指標を明らかにすることを目指します。また、術前治療への反応がその後の治療や予後予測にどのように関与するかを解明し、膵臓癌治療における術前化学療法と集学的治療の役割を確立することを目的とします。
研究実施期間	【調査対象期間】 2015 年 1 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までに膵臓癌に対する手術を受けた研究対象者の手術経過（最長 2030 年 12 月 31 日まで）【研究期間】 倫理審査委員会承認後から西暦 2030 年 12 月 31 日まで
研究の方法	【対象となる方】

	<p>術前精査で通常型膵管癌の診断がついており、手術を企図した集学的治療の介入を予定する患者さん</p> <p>【調査方法】 診療録から情報を収集して、解析します。</p> <p>【研究に利用する試料】 通常の診療時に採取する血液検体で検査後に残った血液を研究用に利用いたします。</p> <p>【研究に利用する診療情報】</p> <table border="1" data-bbox="416 488 1430 831"> <tr> <td><input type="checkbox"/>年齢</td> <td><input type="checkbox"/>性別</td> <td><input type="checkbox"/>身長</td> <td><input type="checkbox"/>体重</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>病歴</td> <td><input type="checkbox"/>既往歴</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/>治療歴【治療薬、治療開始日】</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><input type="checkbox"/>予後【発症（手術）から5年目まで】</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><input type="checkbox"/>臨床検査データ【CEA,CA19-9,DUPAN,SPAN,生化学検査結果、全血球結果】</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><input type="checkbox"/>画像データ【 CT,MRI,PET-CT,EUS,US 】</td> </tr> <tr> <td colspan="4"><input type="checkbox"/>有害事象【副作用・合併症の発生等】</td> </tr> </table> <p>【情報等の管理】 ●情報の管理責任者 九州医療センター 肝胆膵外科（職名）医師（氏名）野村頼子</p>	<input type="checkbox"/> 年齢	<input type="checkbox"/> 性別	<input type="checkbox"/> 身長	<input type="checkbox"/> 体重	<input type="checkbox"/> 病歴	<input type="checkbox"/> 既往歴	<input type="checkbox"/> 治療歴【治療薬、治療開始日】		<input type="checkbox"/> 予後【発症（手術）から5年目まで】				<input type="checkbox"/> 臨床検査データ【CEA,CA19-9,DUPAN,SPAN,生化学検査結果、全血球結果】				<input type="checkbox"/> 画像データ【 CT,MRI,PET-CT,EUS,US 】				<input type="checkbox"/> 有害事象【副作用・合併症の発生等】			
<input type="checkbox"/> 年齢	<input type="checkbox"/> 性別	<input type="checkbox"/> 身長	<input type="checkbox"/> 体重																						
<input type="checkbox"/> 病歴	<input type="checkbox"/> 既往歴	<input type="checkbox"/> 治療歴【治療薬、治療開始日】																							
<input type="checkbox"/> 予後【発症（手術）から5年目まで】																									
<input type="checkbox"/> 臨床検査データ【CEA,CA19-9,DUPAN,SPAN,生化学検査結果、全血球結果】																									
<input type="checkbox"/> 画像データ【 CT,MRI,PET-CT,EUS,US 】																									
<input type="checkbox"/> 有害事象【副作用・合併症の発生等】																									
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>情報等には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。</p>																								
<p>研究組織</p>	<p>この研究は、当院のみの単施設研究です。</p> <table border="1" data-bbox="416 1216 1430 1377"> <tr> <td data-bbox="416 1216 687 1290"> <p>研究代表施設 (研究代表者)</p> </td> <td data-bbox="687 1216 1430 1290"> <p>九州医療センター 肝胆膵外科（職名：医師）野村頼子</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1290 687 1377"> <p>相談窓口</p> </td> <td data-bbox="687 1290 1430 1377"> <p>九州医療センター 肝胆膵外科（職名：医師）野村頼子 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700</p> </td> </tr> </table>	<p>研究代表施設 (研究代表者)</p>	<p>九州医療センター 肝胆膵外科（職名：医師）野村頼子</p>	<p>相談窓口</p>	<p>九州医療センター 肝胆膵外科（職名：医師）野村頼子 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700</p>																				
<p>研究代表施設 (研究代表者)</p>	<p>九州医療センター 肝胆膵外科（職名：医師）野村頼子</p>																								
<p>相談窓口</p>	<p>九州医療センター 肝胆膵外科（職名：医師）野村頼子 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700</p>																								